



おらほの消防団

今月号は、消防団幹部の最年少者である五所川原地区第2分団長の岩淵貴仁さんにお話を伺いました。



消防団活動に対する
思いを教えてください。



【団員プロフィール】
岩淵貴仁 / 41歳 / 農業
五所川原地区第2分団長
活動歴21年

団員や地域の期待に
こたえたい。

入団のきっかけは？
最年少の分団長ということ
ですが？

父が元消防団員で、地元を管轄する2分団5部三ツ矢猫淵の部長をしていました。ですから、元々消防団は身近に感じていて、19歳のころ、父から入団を勧められたのですが、なんの抵抗もなく、かと言って特別な使命感もなく、本当に何となく入団した感じです。前分団長をはじめとする団員の推薦で分団長になりました。放水の技術や、災害対応の経験が認められたのかなと思っています。年上の団員も多いですが、皆さんの協力で頑張っています。

消防団のやりがいは？
また、災害対応の経験談は
ありますか？

消防団の活動にやりがいを感じ始めたのは、入団後2年程してからだと思います。各地域の消防団員が放水技術を競い合う操法大会の五所川原消防団の代表に選ばれ、その競技性に面白さを感じました。県大会で4位になった時は、喜びを感じました。災害対応では、7年程前の水害が記憶に残っています。五工高のサッカー場付近まで浸水しましたが、ポンプでの排水や、土のう積みなど胸まで水に浸かりながら対応しました。水が引いたときは精一杯やった充実感がありました。

今後、どのような活動を
したいですか？

消防団は、色々な災害への対応が求められますが、特に水害への対応力は向上させたいと考えています。管轄する栄地区は、水害が懸念される地域ですので、となりの地区とも連携することで大規模な災害への対応力を強化していきたいです。また、若い団員の勧誘も積極的にしていきます。昨年は、20代の団員が5人増え活性化したと感じています。消防団活動のため本業を休むこともあります。家族の理解もあって続けることができ感謝しています。今後も精一杯努めていきたいです。

消防団で活動しませんか
安心して暮らすことができる地域づくりに興味がある方は、ご連絡ください。
問い合わせ先 防災管理課 内線2142



救急医療当番医 診療時間 9:00~12:00 *受診前に必ず各医療機関に電話で確認してください。

日程	病院名	電話番号	消防署救急病院 紹介電話 Tel.34-4999
4月4日(日)	白生会胃腸病院 (中平井町142-1)	Tel.34-6111	
4月11日(日)	かねひらクリニック (旭町55-2)	Tel.35-3167	
4月25日(日)	田町小山クリニック (田町4-5)	Tel.34-3431	
4月29日(休)	増田病院 (新町41)	Tel.35-2726	

人口のうごき 令和3年2月末 住民基本台帳 ()内は前月比

総人口	男	女	世帯数
53,083人(-78人)	24,377人(-24人)	28,706人(-54人)	25,602世帯(-22)